

住民主体のまちづくり

No.39 2017. 2

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ とんどさん

とんど祭りは、小正月の1月15日に村々で行う火祭りで、正月の松飾り・しめ縄・書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。「とんど」とは火が盛んに燃えるさまを言い、一般的には『とんど』と呼ばれますが、車尾地区では『とんどさん』と呼びます。



当番役が、前日までに竹・しめ縄等で作り上げた集積場所に当日の朝、積み上がったところで点火し、一年の安全を祈ります。今は、成人の日（今年は1月9日）に行う自治会が多いようです。とんど焼きの火に当たったり、焼いた餅を食べれば、その1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、無病息災・五穀豊穡（むびょうそくさい・ごこくほうじょう）を祈る民間伝承行事でもあります。毎年、「とんどさん」に集まることで住民同士の会話・知り合う・つながる良い機会だと思います。

■ 子育てカーニバル in くずも

青少年育成会の事業として「第6回子育てカーニバル in くずも」が1月16日（月）午前10時から、公民館で開催されました。乳幼児親子（17人の母親と18人の乳幼児）のふれあいお楽しみイベントです。車尾保育園児のうたとお踊り・先生のエプロンシアター、また主催の多彩なスタッフ等によるふれあい手遊び・腹話術・バルーンアートと盛りだくさんの内容です。参加者から「プログ

ラムが良く、みんな楽しめました。」「腹話術サイコー！大人も子どもも大笑い！」などの楽しい感想が多くありました。

主催者は「寒くて出かけるに寒い冬に楽しいイベントを開催するのはむしろいかも知れない。」「寒い中、たくさんの方がきてくださり良かったです。」などの評価があり充実した事業になっています。



■ 新春の集い

車尾地区社会福協議会は1月22日（日）午前10時から、恒例の新春の集いを開催し60人からの参加があり盛況になりました。

2部制で行われ、第1部はフリーアナウンサー中岡みずえさんの講演で「ふるさと言葉は宝物」という演題でした。さすがベテランのアナウンサーであり、出雲弁の奥深い言い回しは大喝采で盛り上がりました。「おぼくだらを かいさめして ふうてぶっても いちもんだあ でえせん」この意味が分かりますか。……………

“銭入れを裏返して振ってみても一文もでない、” だそうです。



第2部は民生委員等の有志による劇団「さぎ」の特殊詐欺被害を防止する「寸劇」です。これまで2回の公演で上達し、テンポよく上演されてよかったです。

そしていよいよ懇親会です。会話が弾み、笑い声の絶えない爽やかな時間が流れました。

車尾から1件も特殊詐欺被害が出ないよう地域ぐるみで気を付けましょう。

自分たちのまちは自分たちで（ つくる つなぐ つづける ）